第 2660 地区

Rotary Club of Osaka-Semba

世界に希望を生み出そう

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

設　立　　昭和 63 年 (1988) 5 月 23 日
事務所　　〒542-0086　大阪市中央区西心斎橋 1-7-3 大丸北炭屋町ビル 6 階
TEL. (06) 6244 -1008　FAX. (06) 6244 -1010
WEB. http://sembarotary.club　E-mail : semba@cocoa.ocn.ne.jp
例　会　　毎週月曜日・12 時 30 分・ホテル日航大阪　Tel. (06) 6244 -1111

会長　林　　拓　幹事　山川 良知　会報広報委員長　大島 弥生

四つのテスト／言行はこれに照してから　Ⅰ. 真実かどうか　Ⅱ. みんなに公平か　Ⅲ. 好意と友情を深めるか　Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1514回　例会　2023年（令和5年）10月30日

（地域社会の経済発展月間/米山月間）

本日のプログラム　　（本日のプログレス　岩崎　寿英　副SAA）

- **ロ-タリ-ソング**「我等の生業」
- **会長の時間**　○ **幹事報告**　○ **委員会報告**　○ **ニコニコ箱報告**　○ **出席報告**
- **卓　話**　「金融について」 中嶋　啓至　会員
- **指名委員会**　6階「橘の間」 13:40～14:40
- **IM委員長会議**　31階「カトレア」 11:30～

前回（１０月２３日）例会記録
◇**プログレス**　岩崎　寿英　副ＳＡＡ

・まっかな秋
・里の秋
・枯葉

1. 来客紹介　　中井　崇　親睦委員長

ゲスト：1名　地区外：１名　地区内：0名　合計　2名
ゲスト：米山奨学生学友会(関西)　会長　頼　香奈依　様

2. 会長の時間　「世界ポリオデー」　林　　拓　会長

明日 10 月 24 日は「世界ポリオデー」。カナダのオンタリオ東部とケベック西部では、数千人のロータリー会員が、ポリオ撲滅への認識を高めるために赤いポンチョを着て街中を行進します。2 つの郡にまたがるロータリー第 7010 地区のガバナー、マイケル・キンゼーさんは、会員が 10 ドルで買える「End Polio Now」ロゴ付きの真っ赤な特製ポンチョを 2000 枚注文。これを販売し、売上の半分をロータリーのポリオプラスキャンペーンに寄付します。今年の世界ポリオデー当日または前後にイベント開催を計画しているクラブは、その情報を endpolio.org/ja から登録するよう奨励されています。昨年は、90 カ国から 1400 以上の世界ポリオデーイベント情報が登録されました。
我々2660 地区におきましては月初にもご紹介させて頂きましたように、浪速区恵美須にある「YOLO BASE」にてＲＡＣが中心となったポリオ撲滅イベントが開催されました。レンタルスペースはイベントゾーン、ポリオＰＲゾーン、飲食ブース、

遊びブースに分かれてそれぞれ運営し、その売上金の一部をポリオプラスへの寄付とし、多くの人々がポリオに関心を持ってもらえるよう活動していました。私もお昼前にお邪魔しましたが、結構な盛況ぶりで、我々のピアノの先生である澤野さんも御堂筋本町のＲＡＣ、ＯＧとして参加されており、可愛いキーホルダー作りをお手伝い頂きました。
ありがとうございました娘も家内も大喜びでした。
また今週水曜日には心斎橋ＲＣとの合同ポリオチャリティゴルフコンペが開催されます。それぞれ賞金はポリオプラスに寄付されます。そもそもポリオ（急性灰白髄炎）とは、ポリオウイルスの中枢神経感染により生ずる四肢の急性弛緩性麻痺 を典型的な症状とする疾患であり、かつては5歳以下の小児に多発したところから小児麻痺ともよばれていた。ポリオに対する有効な治療法はないため、ワクチン接種によってポリウイルスの感染を予防する事が最も重要とされています。
我が国におけるポリオの発生は、昭和35年には大流行があり、全国で 6,500 人に達する患者が報告されました。
このときには我が国では生ワクチンが製品として認可されておらず、昭和 36 年カナダおよび旧ソ連からポリオ生ワクチンが緊急輸入され、1,300 万人の小児に一斉投与が行われた。同年より患者数は激減し、3 年後には 100 人を下回った。
現在では生後2ヶ月～7歳 6 ヶ月未満の乳幼児に接種する四種混合ワクチンにポリオも含まれており、日本では昭和55年を最後にポリオ感染者は発生していません。
ロータリークラブとパートナー団体であるビル&メリンダ・ゲイツ財団はこれまで世界中25億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。1988 年以来 99.9% 減少し、野生型ポリオウィルスの常在国は残すところわずか2国となりました。（パキスタンとアフガニスタン）皆様もポリオ撲滅の意識をさらに高めて頂けますと幸いです。
本日、会長の時間は「世界ポリオデー」でした。

3. 委員会報告

◎ IM 実行委員会　片岡　清夫　委員長

「IM ロータリーデーについて」

先週フリートークでご案内させていただいた内容に、例会後開いた「澤田先生サポートチーム」の会議で新たな決定事項がありましたので、本日の週報でご連絡させていただきました。
当に今回のロータリーデーは、今迄多かった外部講師ではなく、内部の方（澤田会員）に講師をしていただきます。
そしてパネルディスカッションを通じて、全体のテーマを「未来を担う若者にロータリーが果たすべき役割とは」、サブテーマ「メンタルヘルスと奉仕活動」と題して、皆様にお役に立てる内容にして参りたいと考えております。
皆様の力強いご協力がなければこのプロジェクトは成功しませんのでよろしくお願い申し上げます。

4. ニコニコ報告　大島　弥生　親睦委員

原山　会員・・・・本日は、米山奨学卓話です。関西学友会より「ライ」会長にもお越しいただいております。
宜しくお願いいたします。

中西　会員・・・・おかげさまにより開店9周年を迎えることができました。ひとえに皆様のご支援の賜物と御礼申し上げます。
いつもありがとうございます。

大久保　会員・・・・今月 9 日～12 日にスコットランドで開催された世界ヒッコリーゴルフオープンチャンピオンシップに日本代表として参戦し、国別対抗戦団体で優勝しました。

小島、中井、坂本、盆子原、山川、塩尻、井澤、大島、新川、小山、清水、北野、平山、竹内、片岡、俣野、宮原、岡野、中村、洪、松村、吉本、岡本(茂)、甚田、伊藤、天野、岡本(真)、
各会員・・・・祝59年ぶり「関西シリーズ」実現

5. 出席報告　岩崎　寿英　副SAA

会員総数　39名　出席率計算会員数　37名　出席会員数　34名（オンライン1名）　出席率　92%
第1510回(9月25日)　修正出席率　100%

6. 委員会卓話　「米山奨学の取り組み」 米山奨学委員会 原山　歩 委員長

米山奨学月間に伴い、米山奨学の取り組み内容をご説明いたします。まずは概要を説明します。
ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、34 地区、全地区が参加する多地区合同活動です。1952 年に事業が始まって以来、一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。
「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべてみなさんからのご寄付で成り立っています。
この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には世話クラブの例会や活動に参加してもらい、交流することを大切にしています。
カウンセラーを経験した方からは、「クラブ全員でお世話する事で、クラブの結束力がアップした」「異文化と触れ合い、奉仕をしている実感がもてた」など、肯定的意見が多く寄せられました。
米山奨学事業の目的は、「定款」で、このように定められております。
この事業のはじまりは、戦後、日本が落ち着きを取り戻すにつれ、梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができるような、何か有益な事業をやろうではないかという声が大きくなり、1952 年、東京 RC の古沢丈作会長が「米山基金」の構想を発表したことからはじまりました。アジアから優秀な学生を招いて、学費を援助し、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい、というものでした。
現在は、全地区の「ロータリー多地区合同奉仕活動」となり、対象はアジアに限らず、これまで 131 か国の国・地域からの留学生を支援しています。
続いて、米山奨学事業の使命が、事業の目的に基づいていることを確認します。
事業の使命は、将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー活動の良き理解者となる人材を育成することです。これはまさに、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」に繋がっています。そして、その成功の鍵は、カウンセラーとクラブの皆様です。当地区では、4 月のオリエンテーションの出席毎月 1 回以上の世話クラブ例会出席当地区リクレーション出席 2-3 月の終了式出席を奨学生の義務としております。

1. 寄付総額は 14 億 2,300 万円となりました。（前年度比 5.7%増）
米山奨学事業は、規模が非常に大きい事業であるにもかかわらず、
管理費は支出のわずか 3%です。
また、ほとんどの寄付金が、奨学生の奨学金またその補助費に充てられるという
大変効率のよい事業だと思います。
2. 第 2660 地区個人平均寄付額は 27,097 円で全国 2 位です。これは、昨年度とほぼ同額です。
全国平均は、16,960 円です。

本年度の当地区個人平均寄付目標額は　30,000 円です。
これは配属を希望されているクラブすべてに配属させて頂きたいとの思いから、設定された目標額です。
本年度は、配属希望クラブ数　61 クラブで配属させて頂いたクラブは 52 クラブでした。
何卒皆様この目標額のよろしくお願いいたします。
クラブ創立記念特別寄付につきまして、周年行事を予定している当クラブでも考えたいと思います。
クラブ創立記念特別寄付 10 万円以上の場合　記念の盾が贈呈されます。
1. 2022-23 年度クラブ寄付総額は 774,000 円（地区 43 位）となりました。
2. 個人平均寄付額は 20,368 円で地区 53 位となっております。
　個人平均寄付額は奨学生の配属に大きく影響致します。
　大変心苦しいところではございますが、クラブの全員の皆様より、米山奨学事業にご寄付をお願いする次第です。

◎ 米山奨学生学友会(関西) 会長 頼 香奈依 様

一年ぶりに今年も御クラブでの卓話の機会を頂きましてありがとうございます。
冒頭で大変恐縮ではございますが、皆様に私の個人的なことをご報告します。先月 16 年間勤務していた会社を退職して、貿易会社を設立しました。これからは台湾と日本の良いものを企画して世界へと繋がるビジネスにしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。今日は主に「米山奨学生の勉強会」と「米山世界大会」についてお話をさせていただきたいと思います。

「米山奨学生の勉強会」の開催時期は新規奨学生のオリエンテーションのすぐ後に 5 月中に行います。新規奨学生たちにできるだけ早めにロータリー活動に馴染んでもらうため、ロータリークラブの組織や奨学金制度などを講義します。それ以外、ロータリアンと学友先輩からの期待も紹介しています。また、ロータリアンとの交流中に起こりうる誤解なども共有しています。奨学生期間の終了後、連絡が途絶えてしまうことをよく聞きます。ロータリアンたちにとって、とても寂しいことでしょう。一方、奨学生にとって、ロータリアンたちからの期待が大きいので、一人前にならない限り連絡するのを控えようという考えの学友もいるようです。お互いの誤解を避けるため、「米山奨学生の勉強会」の開催は非常に有意義な活動だと思います。

「米山世界大会」について、米山学友会同士で横のつながりをより深めていくため、記念事業として「世界米山学友会」連盟を発足し、2年に一度世界大会を開催することになっています。
第 3 回米山世界大会「再会 in 関東」は関東 10 地区米山学友会が主催し、8 月 4 日前夜祭、8 月 5 日は本会議をつくば市国際会議場で開催されました。6 日は文化体験バスツアーで、JXAX などいくつかの研究所に見学しました。世界 38 か国の米山学友、現役奨学生 638 人、ロータリアン 447 人、その他家族を含め、総勢 1209 名のご参加で、広い会場でも超満員でした。学友同志また、学友とロータリアンが親睦を深めるとともに、世界平和と国際親善への認識を新たにしながら、震災地への支援活動や地域の活性化を行っていました。主催の関東 10 地区学友会ではチャリティー奉仕リレーとして募金活動を行い、集まった寄付金 40 万円強は子供の貧困問題に取り組む NPO 法人 Learning for All へ寄付しました。次回の第 4 回目の世界大会は 2026 年 6 月に台湾で開催することに決定しました。

関西米山学友会の年会費はありません。負担なく気軽に関西米山学友会の活動に参加できる環境を作るためです。参加する際だけ会費を払えば参加できるようにしました。運営が少し難しいが、続けてやります。ですので、ロータリアンの皆様にお願いします。できるだけ関西米山学友会の活動にご参加いただければ助かります。企画している活動は様々な工夫をして、奉仕に繋がる有意義なものにするだけではなく、常に楽しい要素を取り入れています。ご都合がよければぜひご参加の程よろしくお願いいたします。

最後になりますが、このように様々な活動の企画・主催が自由に楽しくさせて頂けるのはやはり地区のロータリアンの方々のご理解とご支援があるからこそできたことです。他地区に羨ましいと言われるほどです。この場をお借りして御礼申し上げます。引き続きご協力をお願いします。

クラブ理念:わたしたちは人類社会の共栄を願い、高い感性をもって奉仕活動につとめ、社会の発展と平和に貢献します

クラブビジョン:多様性を認め合い、会員一人一人の心が豊かになる魅力あるクラブを目指す

心斎橋 RC との合同チャリティーコンペ
2023 年 10 月 25 日(水) 於:伏尾ゴルフ倶楽部

親睦委員長　中井　崇

2023年10月25日、林会長にご高配賜り、伏尾ゴルフ倶楽部において、心斎橋 RC との合同チャリティーコンペ(ポリオ撲滅)が開催されました。気持ちの良い秋晴れのもと、心斎橋 RC より10名、大阪船場 RC より10名が参加。「NO　POLIO　NOW」とプリントされた派手な赤 T シャツを着て、伏尾ゴルフクラブのドレスコードにひっかかりはしないかとの不安を抱えながら、スタートホールで記念撮影を行い(写真③参照)、その後はゴルフや会食で和気あいあいと交流を深めました。

今回は、各クラブの会員が獲得した賞金は、所属クラブからの寄付金にまわるというシステムがとられました。そのような中、大島弥生会員が見事優勝を飾り(写真①参照)、山川幹事が準優勝、中井がブービーと、順位賞は我が船場 RC が圧倒する形となりました(3位は心斎橋 RC の田坂会長)。それ以外にも、二つあるドラコンを小山会員が両取りし(写真②参照)、岡本真太郎会長エレクト、山川幹事がニアピンを獲得するなど、船場勢の活躍が目立ちました。また、今回は心斎橋 RC のメンバーから賞品を提供された「バーディー賞」が設定されていたのですが、小山会員、大久保会員、松村会員がバーディーを取り、ここでも船場勢は大活躍でした。なお、前年度の会長・幹事は、ゴルフにおいては目立った活躍はなく、目立っていたのはスタートホールでの記念撮影時だけだったことを念のためご報告いたします。

何はともあれ、親クラブである心斎橋 RC と楽しく交流できたことが何よりの収穫でした。チャリティーの形式についてはまだ模索中ではありますが、心斎橋 RC との交流は今後も変わらず継続していきたいですね。

写真①

写真②

写真③

同好会に参加してきました！

「第1回　グルメ・せんべろ　同好会」

会報・広報委員長　大島弥生

10月16日(月)、グルメ・せんべろ同好会が、「れだん　本店」で開催されました。18名の会員とオブザーバー1名、合計19名。今宵も船場パワー炸裂で、とても賑やかで楽しい時間でした(オブザーバーの方びっくりされなかったかしら～)。今回はグルメ？せんべろ？ではなく「はちせんべろ」、秋の味覚と美味しいお酒をたっぷり堪能しました。手作り醤油や、ラーメン茶碗蒸し？、フォアグラといぶりガッコの最中など、大将の創意工夫のあるお料理でした。最中が乗っていた器は、なんとコルクでしたよ。 素敵！

さてさて、宴も酣。
カメラを向けると船場の皆様は、
なぜか変顔に…。
一部ご紹介します。

そして、今日の1番のお気に入りのショットは、
この背中の丸みが「縁側で日向ぼっこしているおじいちゃん」みたい。
なんかほっこりしました。

さて、次回はいずこ？　楽しみにしていま～す！
今回参加できなかった方も是非お越しやす～。

★11 月例会予定★

日		司会	プログラム	例会場	その他
6	・ロータリー財団月間 ・11/3-5 秋のライラ ・11/22 会長幹事会	吉本	卓話:北野会員	7階「フォンタナ」	お誕生日お祝い 理事会4階「藤の間」13:40～14:40
13		吉本	職奉卓話:林会員 坂本会員	4階「孔雀の間」	
20		吉本	IM 委員会別ミーティング	7階「フォンタナ」	
27		吉本	委員会卓話:R 財団	7階「フォンタナ」	職場見学&懇親会13:50～